中央博サークル (千葉県立中央博物館) 実施報告

ねらい

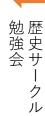
自然誌や歴史に関心のある市民により多くの学習・探究活動の機会を提供することを目的としています。サークル活動は当館の研究員の支援や監修のもと、メンバーが楽しみながら自主的な活動を展開していくことを目指します。これらの活動を通じて、千葉県の自然や歴史、文化の継承にも貢献します。

活動の様子









参加者の声

【歴史サークル参加者の声】

博物館の歴史サークル活動では会員の自主的な企画もあり、郷土の歴史が一層面白くなってきた。博物館の先生方のサポートも密に受けられ達成感も大きい。展示や聴講だけでなく、市民参加型の幅広い博物館利用法がサークル活動の中にあると感じている。

【もりたん(自然観察会サークル)参加者の声】

鋸山車力道を登り、関東ふれあいの道を下る。 皆楽しそう。マテバシイとタブノキの枝の伸 び方の違いと葉の見分け方の説明になるほど の声。崖にはイズノシマダイモンジソウやイ タビカズラ。花の時期、果の熟す時期にまた 来たい。尾根ではネジキのたくさんの蕾に歓 声が上がる。房州石の話など博物館の平田先 生の話が楽しく、皆大満足の1日だった。

成果と課題

【成果】

平成26年3月に始まった中央博サークルは現在8サークルが結成され、226人のサークル員が登録されています。また、11月3日(文化の日)の無料開館日に当館で開催される自然誌フェスタでは、中央博サークルも出展します。ここでは一般客の方にもサークルの展示、体験イベント等を通して活動を紹介しており、幅広い世代が交流しながら千葉の自然と歴史、文化を楽しむ貴重な機会となっています。

【課題】

新型コロナウィルスの感染拡大により、 令和2年に全てのサークルの活動が休止しました。令和4年には感染症対策実施の もとで館事業が全面再開となりましたが、 活動が再開されたサークルは8団体中4団 体に留まっています。サークル活動休止 後の、サークル員の活動離れが課題に なっています。